

市民活動センター★

たちかわ通信



◆編集・発行◆

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ
〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47 ☎ 042-529-8323 Fax : 042-529-8714
E-mail : aiaivc@whi.m-net.ne.jp URL : <http://act.annex-tachikawa.com/>

◆開所日・時間◆

月～金曜日 8 : 30 ~ 19 : 00
土曜日 8 : 30 ~ 17 : 15 ※日曜日・祝祭日はお休みです。

市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をサポートするセンターです。

2008.09 Vol.50

第17回 市民おもしろ大学開催します

市民おもしろ大学は、立川市内で多様な生き方、様々な活動をしている市民の方を講師にお招きし、共に学び、交流し、豊かな地域社会を考え創造する「市民社会」を地域に広めていくことを目的に開催しており、毎回、参加者の皆さんからご好評頂いている活動です。

今回のおもしろ大学は、「老舗名物旅館が見守った立川の歴史」と題して開催します。

立川市錦町にある老舗料亭無門庵。

その歴史は古く、昭和初期から「ホテル無門庵」として開業し、戦時中は、立川が重要な拠点であったため、陸軍将校専用の旅館となりました。

しかし、戦局の悪化により、終戦近くには、立川飛行場からの出撃命令を待つ少年特攻隊兵の宿営場所へと変わっていきます。片道だけの燃料を積み、飛び立った戦闘機は、無門庵上空で大きく3回旋回し、最後の別れを告げたそうです。旅館の人々は、白い布をつけたほうきを力一杯振って応えました。戦後は一転して、米軍兵の宿泊所になりました。

昭和35年に基地拡張問題で起きた「砂川闘争」の際には、報道陣が大挙して押しかけ、この場所を取材拠点に、ニュースを発信し続けました。

無門庵の建物自体は新しくなりましたが、無門庵に刻まれた歴史は、まさに激動の昭和史そのもの。今回のおもしろ大学は、老舗旅館無門庵が見守り続けた立川の歴史について会長の小林日文さんから伺いたいと思います。

日 時 : 9月20日(土) 15:00~17:00

(14:30~受付開始)

場 所 : 懐石料理無門庵(立川市錦町1-24-26)

※JR西国立駅下車徒歩1分

講 師 : 小林日文さん(懐石料理無門庵会長)

参加費 : 無 料

定 員 : 30名(申込み順)

申込み : 市民活動センターたちかわ

☎042-529-8323/Fax042-529-8714



昭和から平成へと様々な歴史を見守り続けた無門庵。

<<<今月号のもくじ>>>

○第17回市民おもしろ大学開催します	P. 1
○団体連絡会を開催しました	P. 2
○立川市教員研修に参加しました	
○夏！体験ボランティアを開催しました	P. 3
○都立高校奉仕体験活動報告	
○情報コーナー	P. 4-6
○登録団体紹介BOOK発行しました	P. 7
○地域福祉コーディネーター活動報告	
○市民活動センターたちかわの	P. 8
おすすめ活用法	

団体のつながいを創る「市民活動団体連絡会」を開催

団体同士のつながりを創りたい!!

団体の活動を継続していくためには、多くの課題があります。ひとつの団体だけでは解決できないことでも、複数で知恵を出し合うことで、策が見つかるかもしれません。

そんな思いがあり、昨年度から始めた団体連絡会ですが、参加団体からは、「新しい仲間が思うように集まらない」「資金獲得が困難」などの声が寄せられました。また、「団体同士のつながりはまだまだ薄いのではないか」という声もあり、今年度は「共感を生み出す発信の方法」と題して、団体の課題を解決するためのミニ講演会と団体同士のつながりを創るための団体連絡会を開催しました。

ミニ講演会では、講師に中村泰彦さん((有)ワイ・エー・エス)をお迎えし、事前に団体さんからいただいたアンケート結果を基にお話をさせていただきました。

事前のアンケートからは、

- ・活動への協力者や理解者が少ない
- ・資金をどう集めたらいいのか
- ・活動を広く知ってもらえるような広報の仕方がわからない

などの声が寄せられています。

共感を呼ぶためには、自分のことは20%、あとの80%は相手の話を聞くことが大切…と中村さん。



「団体の活動を第三者に伝えようとして、思いが先行するあまり、自分たちの活動のことばかりを話してしまいがちです。しかし、本当に自分たちのことを伝え、共感を呼ぶためには、自分のことは20%で良い。あとの80%は相手の話を聞くことが大切です。」という中村さんの言葉が印象的でした。

また団体連絡会では、外国語のことで困っていた団体と外国人支援している団体がたまたま同席。新たなつながりが生まれるという場面もありました。

この連絡会を通し、それぞれの団体が活動を見つめ直し、より良いものにしていこうという機会にもなったのではないのでしょうか。

このほかにも、「共通の悩みを語ることができて良かった。」「他の団体と交流できる機会があれば、また参加したい。」というような声も上がっています。

市民活動センターたちかわでは、このような“つながり”をつくる機会を定期的に行いたいと思います。また、「こんな企画があったら…」というアイデアがありましたら、ぜひお寄せください!!

団体の課題を話し合ってみると、実は共通の課題も。貴重な機会となりました。



立川市教員研修に参加しました

教員研修会は、小・中学校の授業で行われている「総合的な学習の時間」について、授業の目的や効果、具体的な手法などを講義や体験を通して、生徒がより効果的に学習できるよう、障害当事者と協力しながら進めている研修です。

当日は市内外の学校から12名の先生と障害当事者の協力者が参加しました。

はじめに、自立生活センター立川のスタッフによる説明と実際に地域で生活している障害当事者の様子を映像で紹介。次に、総合学習でも取り組まれている車イス体験やアイマスク体験をしながら立川駅や近隣のスーパーなどに出掛けました。車イス体験やアイマスク体験を行なう際、障害当事者が関わることで、様々なエピソード(例えば、車イスの車輪が線路に挟まって怖い思いをしたことなど)を聞くことができ、その体験がより鮮明なものとなります。また、市内の小学校でゴミ出しボランティアや学校に高齢者の方を招待し、サロン活動を広げてきた福原先生から実践例と効果などを紹介していただきました。同じ立場の教員が話をすることで、参加者もこれまでの話をより身近に感じる事ができたようです。

この研修には、数年前から関わり続けており、教員のスキルアップを目指し、生徒の学びに貢献するという効果だけではなく、地域に住む障害当事者の社会参加に貢献できるという効果もあります。市民活動センターでは、今後もこのような活動を支援していけたらと考えています。



●情報をお寄せください! ★みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください●

夏！体験ボランティアを開催しました

7月、8月の夏休み期間を利用して、ボランティア活動を行うきっかけを提供する「夏！体験ボランティア」が今年度も開催されました。今年は160名以上の参加者が市内の様々な施設や市民活動団体で活動しました。活動の一例として、保育園と高齢者施設でのボランティア活動をご紹介します。

①保育園

保育園の活動は、子ども達との遊び相手やプール遊びの準備・後片付けなど、保育士の手伝いを中心です。

子どもが好き、将来は保育士になりたいなど参加動機は様々。

ただ子どもと遊ぶだけでなく、普段はあまり接することのない保育士からの話を聞き将来のことも見据えたり、1つの活動には多くの人が関わったりしていることを学ぶ貴重な機会となりました。

参加者からは「とても楽しくボランティア活動ができた。」「ボランティアを通し、色々な人に会うことができて嬉しかった。」というような感想をいただきました。



②特別養護老人ホーム フェローホームズ

フェローホームズには、ボランティアコーディネーターがおり、高齢者への関わり方や特別養護老人ホームについての説明を受けてから活動を行ないました。

フェローホームズでの活動は、入居している高齢者の方たちと話をしたり、食事の配膳の手伝いや片付けなどが中心です。

「初めてボランティア活動をしたけれども、皆さん親切にしてくれて、とても過ごしやすい場所でした。」「入居者の方と話ができて良い経験になった。」と感想をいただきました。



都立高校奉仕体験活動報告～北多摩高校～

昭和記念公園で開催された花火大会翌日の7月27日(日)、都立北多摩高校1年生80名が、早朝6:30、ぞくぞくと公園に集合しました。目的は、花火大会の会場となった公園内を清掃するためです。この活動は、昨年度から都立高校で必修科目となった「奉仕」の授業の一環として行なわれました。

教科「奉仕」は、青少年が、他者と積極的に関わりあいながら社会に貢献できる生き方を学ぶための授業です。北多摩高校の活動では、「花火大会を通して、ゴミ対策の現状を知る」「環境問題を身近なこととして考える」「商工会議所や清掃業者など多くの協力者がいて、この花火大会が作られている」ことなどを学ぶことが大きな目的です。

花火大会は大きな経済効果をもたらし、立川のまちをPRする大きな手段となっています。しかし、その裏にはイベント後のゴミが毎年増え続け、大きな問題となっている実状があることを事前学習で学びました。

そして、この活動を通して生徒は、「みんなでまちをきれいに!!」の気持ちが、ゴミ問題や街の美化に貢献できることを知りました。

早朝のまだ涼しい時間とはいえ、夏の野外での活動は大変でしたが、生徒たちの顔には、自分たちもまちづくりを担う一員として今回の活動に参加できた、という誇らしげな表情があり、この活動を支援する重要性を改めて感じさせられました。



情報コーナー

～イベント・講習・講座・ボランティア情報など～

ここに掲載されている情報の詳細に関しては、直接主催団体にお問い合わせください。

このコーナーは、市民活動やボランティア活動に関するイベント等の情報を毎月掲載しています。またこのコーナーへ掲載する情報も随時募集しています。掲載ご希望の方は毎月20日までにご連絡ください。

★ボランティア・市民活動団体イベントカレンダー★

開催日	イベント名	場 所	問合せ先
9月 20 日 (土)	立川市朗読サークル『こえ』30周年記念講演会	女性総合センター・アイム	P.4 参照
10月 4 日 (土)	立川社会福祉士会 市民福祉講座	総合福祉センター	〃
10 日 (金)	訪問介護員再チャレンジ講座	至誠キートスホーム	〃
24 日 (金)	訪問介護員再チャレンジ講座	至誠キートスホーム	〃

● ● ● イベント・講習・講座 ● ● ●

■立川市朗読サークル『こえ』 30周年記念講演会

立川市朗読サークル『こえ』は、視覚障害者に向けて、公共情報紙や依頼図書の音訳活動をしています。30周年記念事業として、三宮麻由子さんを講師にお招きし講演会を開催します。

日 時：9月20日(土) 10:00～11:30(9:30開場)
会 場：女性総合センター・アイム1階
アイムホール(立川市曙町2-36-2)
定 員：196名(定員になり次第、入場をお断りすることもあります)
問合せ：立川市朗読サークル『こえ』
☎042-536-6532(稲葉さん)

■ぼくが出会った「認知症」 と呼ばれる人々

和田行男さんに認知症ケアを語って頂きます。認知症になっても、最後まで人として生きるためにどうしたらよいか、皆で考えましょう。

日 時：10月4日(土) 14:00～16:00
会 場：総合福祉センター2階視聴覚室
(立川市富士見町2-36-47)
定 員：70人
問合せ：立川社会福祉士会
☎042-524-8429(小山さん)

■2級訪問介護員再チャレンジ講座

資格はあるけど、取得後の期間が空き過ぎている方。もう少し自信を持ちたい方のための講座です。

内 容：①介護実技演習
②介護保険のホームヘルプの仕組み
③認知症の症状とその対応
④現役ヘルパーとの意見交換

日 時：①・②10月10日(金)/③・④10月24日(金)
19:00～21:30(各回共通)

受講料：1科目500円

定 員：20名

会 場：至誠キートスホーム(立川市幸町4-14-1)

申込み：至誠キートスホーム(栗原さん)

☎042-538-2323/Fax042-538-2324

● ● ● ひと・モノ・募集 ● ● ●

■第14回福生学園・福生あらたま寮 開設記念学園祭「縁」

福生学園では、開設記念学園祭「縁」を開催します。模擬店のほかに、利用者さんの歌や劇による舞台発表など楽しい企画をたくさん用意しています。また、学園祭のお手伝いをしてくださる方も募集しております。

日 時：10月12日(日)10:00～14:30

会 場：福生学園(福生市熊川1600-2)

問合せ：☎042-530-6961(熊坂さん・三田村さん)

●情報をお寄せください！★みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください●

■子ども電話の受け手養成研修講座

「チャイルドライン」は、18歳までの子どものための子ども専用電話です。新たな受け手の養成講座を行います。子どもの問題に関心をお持ちの方、私たちと一緒に活動しませんか？講座の日程、内容など詳細はお問合せ下さい。

日 時：9月17日(水)～21年1月28日(水) 全10回
19:00～21:00(各回共通)

会 場：女性総合センター・アイム
(立川市曙町2-36-2)

問合せ・申込み：チャイルドラインたちかわ事務局
☎/Fax042-531-5927

■宿泊ボランティア 募集

立川福祉作業所は知的障害者の方の作業活動を支援する福祉施設です。知的障害者の方達と一緒に宿泊旅行に行ってください方を募集しています。一緒に楽しい思い出をつくりませんか。

日 時：10月3日(金)～4日(土) 1泊2日
場 所：伊豆長岡温泉 宿泊費・食費等は施設で負担致します

定 員：5名(男性を募集しています)
※資格や経験、年齢は問いません

締切り：9月10日(水)
説明会：9月17日(水) 10:00～立川福祉作業所
問合せ：立川福祉作業所(立川市柴崎町3-13-11)
☎042-527-2721/Fax042-524-2453
(荒井さん・上戸さん)

■社会福祉法人恵比寿会 秋のボランティア募集

＜フェローホームズ・フェローデイサービス＞

①昭和記念公園ハイキング
初秋の公園を一緒に散策しませんか。車椅子補助と、付き添いをお願いします。

②秋の運動会
利用者さんと一緒に、体を動かしてみませんか。
車椅子介助・見守りをお願いします。

日 時：①10月8日(水) 9:30～15:00
②10月23日(木)/24日(金) 13:30～15:00

募 集：①10人程度/②5人程度
問合せ：フェローホームズ・フェローデイサービス
(立川市富士見町2-36-43)

☎042-523-7601/Fax042-523-7605
(藤谷さん)

URL：http://www.fellow-homes.or.jp
E-mail：fujitani@fellow-homes.or.jp

＜羽衣地域福祉センター＞

高幡不動尊に利用者さんとともに車で移動し、散策します。車椅子介助・見守りをお願いします。

日 時：①10月6日(月)～10日(金)
12:30～16:00(雨天中止)

②10月20日(月)～24日(金)
12:30～16:00(雨天中止)

募 集：①2人程度/②3～4人程度

問合せ：羽衣地域福祉サービスセンター
(立川市羽衣町1-12-18)

☎042-523-5612/Fax042-523-5613(新妻さん)
E-mail：hagoromo@fellow-homes.or.jp



■「ひまわり号」への参加者と ボランティアを募集します

心身に障害があるために日頃旅行の希望が叶えられずにいる方と関心のあるボランティアでJRの専用列車を仕立てて日帰りの旅行を楽しみます。今年は大宮・鉄道博物館に行きます。

日 時：10月26日(日) 7:30～18:00
(集合解散は立川駅)

参加費：大人3,500円/中高生2,500円/小学生2,000円

定 員：200名

締切り：10月7日(火)

問合せ・申込み：ひまわり号を走らせる立川実行委員会
☎/Fax042-569-1292(森さん)
☎090-2174-7399
E-mail：moririn@blu.m-net.ne.jp

■第2回「歯ミカップ」 応募者・応募施設募集!

「歯ミカップ」は、障害のある方の歯と口の健康づくりを推進するために開催する表彰・交流会です。歯みがきの工夫や、歯や口の健康を守る習慣を続けている障害者の方、施設の方、ぜひお寄せください。

日 時：11月6日(木) 13:30～15:00

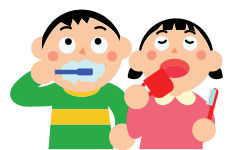
会 場：多摩立川保健所 体育館
(立川市柴崎町2-21-19)

対 象：歯みがきなど歯や口の健康を守る工夫、努力をしている障害のある方と障害者施設。

締切り：10月15(水)まで

申込み・問合せ：多摩立川保健所企画調整課
保健医療係歯科担当

☎042-524-5171/Fax042-524-7813



■立川を「知る、考える」

～まちづくりをみんなで考えよう～

立川のまちづくりを主にバリアフリーの視点から皆さんで考えます。会場、内容など詳細についてはお問合せ下さい。

内 容：①バリアフリー新法についての講演会
②福祉のまちづくり条例についての講演会
③グループに分かれてのまち歩き
④ワークショップや市への提案書づくり

日 時：①10月4日(土) 14:30～16:30/②11日(土)
③25日(土)④11月8日(土) 14:00～16:30

参加費：500円(資料代)

対 象：市内在住、在勤

定 員：①、②50名/③、④20名

締切り：9月19日(金)

※手話通訳・要約筆記を希望される方はお申込の際にお知らせ下さい。

申込み・問合せ：NPO法人自立生活センター立川

☎042-525-0879/Fax042-523-5545

■幼児教室 風の子イベント

参加者募集

幼児教室風の子は、国立富士見台団地内にある自治体が認定した幼稚園に即した保育施設です。風の子の秋のイベントにご参加下さい。

<イベント内容>

①秋まつり：飲み物や食べ物、おもちゃなどの
お店があります。

②風の子まつり：遊びコーナー、風の子劇場など
盛りだくさん。

③運動会：風の子ならではの手作り運動会

日 時：①9月20日(土) 17:00～

②10月8日(水) 10:00～11:30

③10月18日(土) 9:30～

<※雨天順延19日(日)>

10:30頃から未就園児競技

問合せ：国立富士見台団地幼児教室 風の子
(国立市富士見台3-7)

☎/Fax042-576-4898(佐藤さん)

■地域に発進～ふれあい市場

フリーマーケット参加者募集～

すみれ会では「共に生きる」心と力を社会の中で育んでいく事を願っています。フリーマーケットをきっかけにたくさんの方々と出会えるチャンスになればと思います。開催します。

日 時：9月21日(日) 10:00～15:00

場 所：立川競輪場特設会場(立川市曙町3-32-5)

参加費：1ブース1500円(2m×2m)

締切り：9月10日(月)

問合せ：社会福祉法人すみれ会武蔵立川学園

(立川市西砂町4-75-4)

☎042-531-0761/Fax042-531-2418(小林さん)

いちじしょが る た

■「一字書歌留多」

無料贈呈いたします

「一字書歌留多」とは小学生が学びながら楽しめる「書道」と「詩」のかるたです。これは小学校や教育機関、長期入院のお子様がいらっしゃる小児病棟などの医療機関へは無料で贈呈いたしますので、概要を確認の上、必要個数をご連絡ください。個人的にお求めの場合は1箱1,050円でお分けいたします。

問合せ：株式会社美研インターナショナル

(渋谷区渋谷1-7-7住友不動産青山通りビル9階)

☎03-5766-9291/Fax03-5766-9292

(沖さん・田村さん)

■ボランティア365参加者募集

若者が1年間、全国各地の活動先で、ボランティア活動に専念するプログラムです。さまざまな人と出会い、自分や社会を見つめ直してみませんか。

活動先は、児童養護施設、障害者の小規模作業所、山村留学施設、離島・山村振興活動、ホスピスなど。

※詳しくは日本青年奉仕協会ホームページをご覧ください。

募 集：60名(18歳～30歳まで)

参加費：7万円/年間

応募事務手数料5,000円＋参加費65,000円

生活費支給：45,000円～60,000円

応募締切り：前期9月30日(火)・後期12月15日(月)

<応募資料の請求方法>

下記アドレスに「郵便番号・住所・氏名・電話番号
メールアドレス」を記入して送信して下さい。

問合せ：社団法人日本青年奉仕協会(JYVA)

(東京都渋谷区代々木神園町3-1

国立オリンピックセンター内)

☎03-3460-0211/Fax03-3460-0386

URL: <http://www.jyva.or.jp/>

E-mail: v365@jyva.or.jp



●情報をお寄せください！★みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください●

市民活動センターたちかわ登録団体紹介BOOK発行しました

市内で活動する福祉・環境・地域づくり・多文化共生などについて取り組む112団体(8月21日現在)の活動を紹介する冊子の最新版を発行しました。

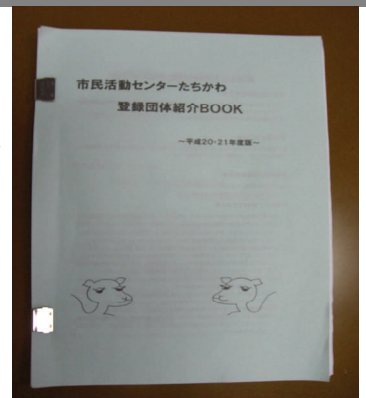
1部300円で頒布中です。なお、市民活動センターたちかわホームページ上でも登録情報が閲覧できます。

問合せ：市民活動センターたちかわ

☎042-529-8323/Fax042-529-8714

E-mail：aiaivc@whi.m-net.ne.jp

URL：http://act.annex-tachikawa.com



地域福祉コーディネーター活動報告

四者懇談会の開催とこれからの取り組み

去る6月に栄町を2つの地域に分けて四者懇談会を開催しました(四者＝自治会長・民生委員・地域包括支援センター・社会福祉協議会)。

自治会長さんと民生委員さんが始めて顔を合わせた地域もあり、それぞれの団体の役割や機能について情報交換をしました。また日ごろの活動を通して感じておられる「地域の課題」は多くの分野に渡っており、自治会の加入率低下や役員のなり手がいない問題、防犯、防災に絡む個人情報、高齢者への日ごろの対応や孤独死、公共のマナー、青少年育成の課題などが出されました。

今後、地域でどのような活動に取り組んでいくかを各団体の代表とお話しました。ちょうど、立川市の防災モデル地区推進事業で栄町がモデル地域になっていること、また民生児童委員の「災害時一人も見逃さない運動」が全国的に展開されているので、「防災」を切り口に住民や関係機関を繋いでいこうということになりました。

懇談会の中でも、本当に実効性のある防災マニュアルは自治会という範囲でもまだ広く、その「班」くらいの範囲で顔の見える関係を作ることではないかというご意見が出ました。そこで、これから「モデル地域」の中の、さらに「モデル班」として協力頂ける地域と一緒に防災体制作りをしてみたいと考えています。20～30世帯規模の班を目途に自治会に加入している方、していない方、災害時要援護者、その方が契約しているヘルパー派遣事業所や訪問看護ステーションなどを繋ぐ会合を数回に分けて開催します。まずは協力して下さる班長さんを探すことから始めます。



「認知症の高齢者を支える家族の会」始めました

7月に開催した講座「認知症の理解とケア」は大変盛況でした。これを受けて介護者の心を少しでも軽くする場所である「家族会」を開催しています。初回の8月は2名の方がご参加され、デイサービスなど関係機関の時間調整までして参加されました。それぞれの介護中の思いやご苦勞を語り合い聴き合って、お帰りになるときは「楽になった」と言っておられました。介護に関する情報交換もできます。基本的に毎月第2曜日の13：30から、今は若葉会館で開催しています。現在介護中のご家族で参加をご希望の方は是非お越し下さい。開催場所など、念のためお電話でご確認を。

問合せ：☎042-537-7147(早川)

地域福祉コーディネーターは、
地域に拠点を置き、まちの課題
を住民と共に考えます。